

## さかえ保育園副園長

夜部 裕子

### 「折尾のまちづくり

〜わたしの願い〜」

さかえ保育園は、折尾の東側に位置しています。中須公園や金山側に隣接し、四季の移り変わりを目や肌で感じるようになります。

特に、情動的な保育に力を入れており、「強いからだ」「やさしい心」明るくけじめのあるを保育目標に、子ども達は心豊かに生き生きと毎日を過ごしています。

毎年、年長組は6月の折尾祭りに参加してマーチング演奏をしています。温かく大きな拍手を頂くので、出場するのがとても楽しみです。

また、20年度は折尾東市民センターで開催されている「折尾

東子育てほのぼのルーム」に保育士3名が参加させて頂き、在宅で子育て中のお母様、お子様と手作りおもちゃを作ったり、リズム遊びをしました。

さかえ保育園は、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより、地域で子供を育てる環境づくりに努めています。

折尾地区に居住されていらっしゃる子育て中の皆様、さかえ保育園は皆様の応援です。

悩んだり、困ったことがあります。もしたら声をかけて下さいね。

殺伐とした時代に、明日の折尾を担う子ども達（さかえ保育園の園児や地域の子ども達）が元気で健やかに育つようしっかりと見守っていききたいと思えます。

地域の皆様も温かい眼差しで見守って下さい。

未来の折尾は子ども達にかかっています。

## 北九州市立小池学園

田代 秀子

### 『折尾地区との交流』

「フレスター50号」の発行おめでとございます。小池学園にも「フレスター」が届いており、折尾周辺のネットワーク等の情報について、いつも興味深く読ませていただいています。

小池学園は折尾から少し離れた学園研究都市の近くに位置し、昭和46年に開園した障がい施設で、現在、150名の児童・成人の方が生活されています。

開園当初は、浅川本村から曲がりくねった未舗装の路が続き、山の中に一つだけぽつんと立った建物でした。利用者の方や職員は折尾駅を経由して学園まで来ており、折尾は交通の起点として、また、外出や買物の中心的な場所でした。

現在も折尾周辺で、買物や食事をしたり、折尾駅からJRで日帰り旅行に行ったり、利用者の方の中には折尾駅の近くの会社に働きに行ったりと小池学園にとって身近な場所です。

小池学園では藍染めや和紙、アクリルタワシ、ピース細工、EMぼかし（堆肥の素）、花や野菜の苗等を利用者の方と一緒に作って販売しています。

以前、折尾駅前で行われた「ひと坪店」に出店させていただき、地域の方との交流の機会を持つことができました。

また、地域の市民センターや生協でも地域交流を目的に、利用者の方が作られた花の苗や作品の販売や地域の清掃ボランティアを行っており、今後も継続していききたいと考えています。

福祉の流れは脱施設化で、障がいを持った方が地域で普通の生活ができる社会を目指しています。

小池学園でも地域の中で生活を始められた方がいます。

町内会に入り、地域の皆さんと一緒に様々な活動に参加し、地域での生活を楽しまれており、これも地域の方の暖かい支えがあつてのことと感謝しています。これからも、障がいがあつても安心して生活ができる、そんな町になってほしいと願っています。

## ひみこの会

白土 芳昭

### 『国際交流、地域交流の楽しさ』

私が参加させて頂いている草の根国際交流「ひみこの会」と言うボランティア団体が有ります。

「折尾地区周辺に在住する外国人との交流を通じて、相互理解を図ると共に日本での生活を支援する」を目的に、折尾東市民センターで毎週二回の日本語教養を中心、バス旅行やクリスマス会等の活動を行っております。

生徒さんは、留学生、技術研修生、主婦など国籍も中国、韓国、インドネシア、ベトナム、カナダ等国際色豊かで、先生は子育てを終わられた淑女が主体で、和気藹々で活気に溢れた寺子屋式授業で、お互いの生活や文化の違いを話し合い相互理解を深めています。

昨年10月、この会の先生の紹介で地域通貨オリオン「交流会」に参加する機会を得ました。

参加者は学生、商店、市の職員等の方々でこの様な地域交流会があるのを知ってビックリしたのと、ここで初めて知った事が二つあります。

一つは折尾に地域通貨オリオンと言うものが有ること。

二つ目は折尾駅周辺の開発が大々的に行われる計画で、既に工事は一部着工されていると言うこと。

再開発の話は少しは知っていましたが、これ程のものとは思いませんでした。

これを聞き早速開発される前の町の写真を記念のため取り始めました。

当然これ等の情報は市の広報等で流されていると思いますが、こちらに無関心では記憶にも残らず、人に会って得られる情報とは大違いと実感しました。

たまたま「ひみこの会」に参加させて頂いたお蔭で、地域の方々とも知り合いになれ、更には折尾の町が今後どの様に変わっていくかについても関心が深まり愛着が湧いてきました。

国際交流も大切ですが、同様に地域の方々との交流も大切で、

国際とか地域とかに拘らず、出来る限りイベントや活動に顔を出し交流を計り、「多くの人達との出合の喜び」、「多くの情報を得る楽しみ」を味わって行きたいと思っています。



かずのりげす

特急ソニック